

## 能舞舞踏台本「比叡死生谷銀河巡礼」 作：鎌田東二

### 出演者：

能舞：観世流能楽師・河村博重（京都造形芸術大学客員教授）

舞踏：舞踏家・由良部正美（スペース ALS - D 主宰）

音：鎌田東二

### 制作上演意図と概要：

①14世紀から15世紀にかけて世阿弥が大成した「複式夢幻能」は、多く、「諸国一見の僧」が各地を遍歴し、その時の霊や痛みに直面し、鎮魂供養と成仏を祈る「天下の御祈祷」であった。本「能舞舞踏 比叡死生谷銀河巡礼」は能の体裁を借りつつ現代の魂の遍歴と死生観探究を表現するものである。

②全体を「序破急」でまとめた。序は導入部、破は展開部、急は終結部である。世阿弥は『風姿花伝』「第三問答 条々」の中で「一切の事に序破急あれば<sup>さるがく</sup>申樂もこれ同じ」と述べ、『能作書（三道）』では「序破急の三体を五段に作りなして、さて<sup>ことば</sup>詞を集めて、<sup>ふし</sup>曲を付けて書連ぬるなり。（中略）序破急に五段あり。序一段、破三段、急一段なり」と記し、『習道書』には「能の序破急の事、<sup>わきのう</sup>脇能は序なり、二番・三番・四番は破にて、事を尽して、五番目は急にて果てて、遊樂成就の<sup>いちえ</sup>一会なる」と書いている。中でも、「破」はさらに「破の序・破の破・破の急」の三段に分けられ、こうして、一日の演目を「五番立て」とする規準が確立した。また『花鏡』にも「序破急の事」という一章が設けられ、詳しく論及し、「しかれば、序破急の心得、大儀の申樂より初めて、酒盛り、または<sup>かりそめ</sup>仮初の音曲の座敷までも、次第々々を心得べし」とまとめている。

③本作「能舞舞踏 比叡死生谷銀河巡礼」においては、「諸国一見の僧」は、宮沢賢治の童話『銀河鉄道の夜』の主人公ジョバンニとなる。ジョバンニは、第一部序で比叡山に宿る「生の世界・神仏の世界」を目撃し、第二部破では「死の世界・暗黒の世界・絶望と苦悩の世界」を目の当たりにし、第三部急では「死生統合の世界・諦念と生命讃歌と草木国土悉皆成仏の世界」に至る。

④本作の中で、鎌田東二は、石笛・横笛二種類（龍笛・横笛）・法螺貝二種類（日本・ニュージーランド両国の法螺貝）・神楽鈴・チンシャー（チベットの鈴）・団扇太鼓・ギターを用いて演奏し、ギター伴奏で十曲を歌う。

### 第一部序 生界 約20分

法螺貝・横笛奉奏2分

### 語り：

銀河鉄道に乗ってカムパネルラを探し、宇宙と世界を巡るジョバンニ。

「まことのさいはひ」を探し求めて、いつしか、比叡山つつじヶ丘に降り立った。そこは、一面のつつじが咲いた極楽浄土のような世界、生命讃美の聖地であった。そこでジョバンニとカンパネルラは神仏と相まみえることとなった。

謡：「ちはやふる」

唄

① 「銀河鉄道の夜」 4分

この地球から見ると銀河は白い乳の流れに見えて夜空を彩る  
その夜 ケンタウルスの祭りではぼくは不思議な夢を見た  
銀河の夜汽車に乗って星の世界を旅する夢だった

あの空の果てまで ぼくたち二人で まことのさいわいを 探しに行こう  
カンパネラ星の星までぼくは旅をする カンパネラ星からぼくは飛んでゆく

この宇宙の中で地球はいのちと苦悩に満ちた星として輝く  
その夜 銀河の渦の中でぼくは孤独な星となる  
いっしょに行こうと誓ったきみはどこにいるのか教えて 教えて

あの空の果てまで ぼくたち二人で まことのさいわいを 探しにゆこう  
カンパネラ星の星までぼくは旅をする カンパネラ星から独りで飛んでゆく  
あの空の果てまで ぼくたちみんなで まことのさいわいを探しにゆこう 探しにゆこう 探しにゆこう

② 「弁才天讃歌」 4分

オンソラソバテイエイソワカ (8回)  
天の川清く流れ 地上に光の帯となって 緑の大地を育み  
世界に夢の帯となって 心の絆を結ぶ  
弁才天 輝け 弁才天 世界へ 弁才天 響かせ 弁才天 天翔ける

オンソラソバテイエイソワカ (8回)  
天の星遠く流れ 地上に光の渦となって 魂の道を照らし  
世界に虹の橋となって 国の境を超える  
弁才天 あふれ出せ 弁才天 宇宙へ 弁才天 響かせ 弁才天 魂翔ける  
オンソラソバテイエイソワカ (8回) オーム

③ 「神」 4分

この苦しみの中に神が在る この悲しみの中に神が居る  
神は森に住んでいるけれど 人の心の森にも住んでいる

この激しさの中に神が在る この慎しみの中に神が居る  
神は海に住んでいるけれど 人の心の海にも住んでいる

開け天地 吹けよ山河 つながれ天地 結ばれよ山河

この痛みの中に 神が在る この静けさの中に神が居る  
神は天に住んでいるけれど 人の心の天にも住んでいる

この喜びの中に神が在る この祭りの中に神が居る  
神は祭りの中に現われるけれど 祈る心の中にも現われる

開け天地 吹けよ山河 つながれ天地 結ばれよ山河  
開け天地 吹けよ山河 つながれ天地 結ばれよ山河

謡：「神ながらたまちはへませ」3回

「南無三宝讃菩提」3回

## 第二部 死界 約20分

石笛奉奏

語り：

ジョバンニは東山三十六峰を巡り歩き、鳥辺野に行き着き、そこに埋葬されてきた無数の死体と亡霊たちに出会った。それは、地震や洪水、疾病や戦争で亡くなった無数の死者たち、亡霊たちだった。世界は苦悩に溢れている。暗黒の世界。祈り届かぬ世界。甦ることなく、鎮まることなく、沸騰し、燃え上がる。怨霊も御霊も亡霊も。

### ④ 「夢にまで見た君ゆえに」3分

夢にまで見た君ゆえに ひとつかみまでさくゆえに  
祈りを込めて届けたい 心尽きるまで果たしたい 仰ぎ見る空と

夢の果てまで君探し この世の果てまで君恋し  
届かぬ思いを見届けて いのち尽きても届けなむ 落ちて往く空へ

一日過ぎたら戻れない 時の流れに身をまかせ  
この世の果てまで追いかけて 星のかけらとなりにけり

夢の奥まで迷い来ぬ 風に吹かれてさ迷いぬ  
どこまで行けども果てしない 祈りの果てまで身を投げて 飛び惑う夢よ

一日過ぎたら戻れない 時の流れに身をまかせ

この世の果てまで追いかけて 星のかけらとなりけり

⑤ 「ある日道の真ん中で」 2分

ある日道の真ん中で突然涙が 溢れて来て支えきれずに崩折れていった  
このまま僕は糸の切れた凧のように あてどなく荒野を彷徨い歩く  
季節外れのはぐれ鳥のように 行方知らずの迷い鳥のように

いつまで経っても僕は君を忘れられないんだ  
こんなことならいっその世から消えてしまいたいんだ  
空を見上げて呪った 涙をごまかすように

ある日岬の突端で突然高波が 襲いかかり逃げられず呑み込まれていった  
このまま僕は逆巻く波の藻屑となって あてどなく海峡を流され沈む  
季節知らずの迷い魚となって 行方不明のはぐれ魚となって

いつまでたっても僕は君を忘れられないんだ  
こんなことならいっその世から消えてしまいたいんだ  
海を見つめて呪った さよならを告げる代わりに

⑥ 「南十字星」 2分

南十字星 空に消えた 南十字星 海に溶けた  
青い空は どこまでも蒼く 青い海も いつまでも青い  
帰ってこない 月日を 戻ってこない あなたを  
探し回って 空しく 手がかりさえも 見えずに 星の光を頼りに  
失くした月日を探して どうすることもできずに 消えてゆくのを待つのか  
嗚呼 嗚呼 嗚呼 嗚呼 嗚呼 嗚呼

⑦ 「南無阿弥陀仏マリア」 2分

アヴェ・マリア アヴェ・マリア アヴェ・マリア アヴェ・マリア 救いたまえ

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 救いたまえ

心にもないことを唱えても神は見そない哀れみ給う  
心の内から吹き上げてくる悲しみを神は見そなわし給う  
天から遠く離れたさまよえる魂よ  
天の記憶を遠く忘れ果てたさまよえる魂よ

南無阿弥陀仏マリア 南無阿弥陀仏マリア 南無阿弥陀仏マリア 南無阿弥陀仏マリア  
救いたまえ 救いたまえ 救いたまえ

### 第三部 生死界 約 15 分

横笛奉奏

語り：

ジョバンニの旅は、東山三十六峰と比叡死生谷を巡るまさに「十界互具・一念三千世界」の旅であった。  
ジョバンニはそこで巡り合った亡霊たちからさまざまな苦悩と痛みを聴き取った。  
だがその苦悩の底には、みほとけの慈悲と「草木国土悉皆成仏」の世界があって、すべての存在世界を包み込んでいた。  
満開のつつじヶ丘の中に死生のすべての谷と三千大千世界を包含する「草木国土悉皆成仏」といのちの讃歌があった。

#### ⑧ 「探すために生きてきた」2分

探すために生きてきた 道を求めて生きてきた  
夢を求めて生きてきた 愛を求めて生きてきた

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 果てしない 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 切りがない  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 とめどない 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 道がない

探すために生きてきた 探し求めて生きてきた  
路を求めて生きてきた 愛を求めて生きてきた

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 果てしない 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 切りがない  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 とめどない 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 終わらない

#### ⑨ 「君の名を呼べば」4分

ああ ああ ああ ああ ああ ああ  
君の名を呼べば 君の名を呼べば 君の名を呼べば 君の名を呼べば  
打たれて 雨 (アーメン)

ああ ああ ああ ああ ああ ああ  
君の名を呼べば 君の名を呼べば 君の名を呼べば 君の名を呼べば  
どしゃぶり 雨 (アーメン)

南無妙法蓮華經（4回） 南無阿彌陀仏（4回）

のうまくさまんだば一だらんせんだんまかろしゃだそわたやうんたらたかんまん  
おんあぼきやべいろしゃのうまかぼだだまにはんどまじんばらはらばりたやうん  
のうぼうあかしゃきやらばやおんありきやまりぼりそわか

オンアミリタテイセイカラウン（3回） オンソラソバテイエイソワカ（3回）

南無神変大菩薩（3回） 南無大師遍照金剛（3回） 南無日蓮大上人（3回）

オンマニペメフーム（4回） キリエ・エレイソン（4回） アラー・アクバル（4回）

神ながらたまちはへませ（4回）

ギャーティ ギャーティ ハラギャーティ ハラソウギャーティ ボウジーソワカ 般若心経

ああ ああ ああ ああ ああ ああ

君の名を呼べば 君の名を呼べば 君の名を呼べば 君の名を呼べば  
どしゃぶり 愛（会い・合い）

#### ⑩ 「歓喜の歌～草木国土悉皆成仏の歌」（ベートーヴェン「歓喜の歌」の替え歌）4分

あなたと見つけた幸せの歌 あなたとたどった喜びの道  
幸せすぎたのに終わる時がきた あなたとあるいた喜びの日々

あなたが遺した<sup>のこ</sup>幸せの歌 あなたが示した喜びの道  
幸せすぎたから終わる時がきた あなたがくれたの幸せの日々

神さまいつまでつづくの夢は 神さまいつしか終わるの夢は  
幸せすぎたのに終わる時がきた 神さまどこまでつづくの夢は

あなたと出会った喜びの時 あなたと過ごした幸せの日々  
幸せすぎたけど終わる時が来た あなたと別れる<sup>かな</sup>愛しみの時

いつしかあなたは遠くに往った あなたを探してわたしは行くの  
幸せすぎた日々噛みしめながら あなたを求めてわたしは行くの

草木も国土もほとけになるの あらゆるいのちはほとけになるの  
痛みはほどけて悲しみを越えて すべてのいのちとほとけになるの

草木国土は悉皆成仏 草木国土は悉皆成仏  
痛みはほどけて悲しみを越えて 草木国土は悉皆成仏 草木国土は悉皆成仏 草木国土よ悉皆成仏

謡：

すはや今こそ <sup>そうもくこくど</sup>草木国土 すはや今こそ 草木国土  
悉皆成仏の御法<sup>みのり</sup>を得てこそ 失せにけれ

（石笛・法螺貝奉奏）